

大沢記念建築設備工学研究所「研究所報」投稿要綱

(1996年3月制定・2003年7月改定・2016年2月改定)

1. 投稿資格

投稿原稿の著者は、本研究所員、または、研究所運営会議の認める者とする。

2. 著作権

研究所報に掲載された記事についての著作権は、本研究所に帰属する。また、外部から転載・引用の申請があった時は、運営会議で検討の上、許可することがある。ただし、本学図書館のウェブサイトについては掲載を原則とする。

3. 原稿の種類

原稿は、総説・論説、研究論文、研究報告、コラム等とし、和文または英文とする。

3-1 総説・論説

- 1) 研究所運営委員会により依頼された寄稿者による見解や意見。
- 2) 原稿の長さは適宜とする。

3-2 研究論文

- 1) 独創的な研究で、価値ある結論あるいは事実を示唆するものであること。
- 2) 原稿の長さは、図・表・要旨を含め、原則として刷り上がり12ページ以内とする。
- 3) 要旨は、内容をよく表現している英文200語以内で本文冒頭に添付する。
- 4) 和文および英文のキーワードをそれぞれ3語ずつ、要旨の末尾に添付する。

3-3 研究報告

- 1) 投稿する著者または運営会議が依頼する寄稿者が、科学、技術および教育に関して実施した調査の報告、海外情報の紹介など。
- 2) 原稿の長さは研究論文に準ずる。
- 3) 要旨は、内容をよく表現している英文200語以内で本文冒頭に添付する。
- 4) 和文および英文のキーワードをそれぞれ3語ずつ、要旨の末尾に添付する。

4. 投稿原稿の取扱い

- 4-1 研究論文、研究報告の原稿は正副各1部を研究所運営会議内に設ける編集委員会に提出する。
- 4-2 原稿は、本投稿要綱および投稿の手引に従って書くものとする。
- 4-3 投稿原稿の受理年月日は、編集委員会に提出された年月日とする。ただし、原稿の書き方が要綱に従っていない場合は、受理しない。
- 4-4 原稿の採否は、編集委員会が決定する。ただし、研究論文、研究報告については、編集委員会が指定する複数の審査員に査読を依頼する。
なお、編集委員会は、投稿原稿について訂正を求めることがある。

5. 著者校正

著者校正は、1回とする。なお、この時点での印刷上の誤り以外の字句修正、新たな字句の挿入は、原則として認めない。

6. 別刷り

別刷り50部を著者に進呈する。それを越える別刷りを希望する場合は、原稿提出の際に申込み、経費は実費とする。

7. 発行後の訂正

誤りについて、著者の申出でがあり、編集委員会がそれを適当と認めた場合は、次号で、訂正記事を掲載する。

8. 付録

本文中に入れると論旨が中断したり、煩雑になる事柄は、付録として「文献」の前に入れる。付録をつける場合は、本文中に記載したことを述べる。

付録に出てくる図・表および本文と関係ない数式は、本文とは別にした独立番号とする。例えば Eq.(A-1), Fig.(A-1), Table (A-1)

9. 文 献

- 9 - 1 引用文献は、本文該当箇所の右肩に 1), 2) のように通し番号で示し、本文の末尾にまとめて記載する。配列については、引用文献の出てきた順とする。
- 9 - 2 文献は、英文とし A4 の用紙にダブルスペースでタイプ打ちする。但し、和文の雑誌、成書、国内の研究発表会などは和文でよい。
- 9 - 3 著者名は「姓」を先にし、「名」の頭文字を後に続ける。著者名は and などをつけずコンマで続け、全員の名前を記入する。
- 9 - 4 雑誌および特許の略号は、それぞれの専門分野で使用しているものに従う。
- 9 - 5 文献は著者名、誌名、巻、号、ページ、年の順で書く。
- 9 - 6 著者自身の未発表の研究を引用する場合には、これらのかわりに「to be published」又は「submitted」と記す。
- 9 - 7 *ibid*, *idem* を使用してよい。

[例]

- 1) Kanto, T.: to be published.
- 2) U.S.: 4,081,308
- 3) JIS B 0001
- 4) 日本化学会編：“化学便覧（基礎編）”，改訂 2 版，P 999，丸善（1975）
- 5) 関東太郎他：“物理学実験”，P 5，河出書房（1951）
- 6) Kanto, T.: A. I. Ch. E. J., 16, 10, 802, (1970)
- 7) Kanto, T., Kanto, G.: J. Crystl. Corwth, 76, 1, 88 (1986)
- 8) 関東太郎：応用物理，54，137（1985）

10. 原稿の提出

表紙を確認した上で、正副各 1 部を提出する。なお、ワードプロセッサ原稿の場合は、使用機種名を記入の上、当該フロッピーディスク提出を原則とする。

11. 原稿が書き終わったら

- 11- 1 原稿は、正副 2 部ありますか。
- 11- 2 本文原稿に、表紙、英文要旨、キーワードおよび図、表を確実に添付してありますか。